

常盤台使い

Letter from the Residential Tokiwadai

第124号 2022年5月15日

育明会の学びの場 変わらないもの 変わるもの

新人研修ではケアの基本を前淑徳大学教授の前川先生にご指導いただきました。現在では、その理念を引き継いだ幹部職員が指導に当たっています。



標準予防策・
季節感染症の研修を毎年開催。
新型コロナウイルス感染症については
オンラインを活用し
R百合ヶ丘とも共有しながら
感染対策に努めています。



外国籍の職員が増えてきたことによる文化の違いや悩みを共有。
日本語の理解を深めるため、佐藤先生にご協力いただき、日本語講座を開催。
グループワーク研修では、外国籍の職員が発言をする姿も増えてきました。



より良いケアを目指していくために、常盤台の学びの場はこれからも進化・充実させていきます。



ネオマルシェ開店



常盤台北部自治会の橋本会長と、自治会員の勝又様・鈴木様のご協力を得て、4月の大安吉日、新棟の「喫茶ネオマルシェ」をオープンすることができました。



営業は毎週月・水・金の13:00～16:00



Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人” etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します!

4番街 山本美代子さまの Only One

今回ご紹介するのは、4番街2丁目にお住まいの 山本美代子様 です。山本様のご長男様にお話を伺いました。

若い頃は戦争でドタバタで、苦労が絶えなかったと聞いています。母は駅ビルの中にある“おにぎり専門店”の店長を長く勤めていました。最近では、よく見かけるおにぎり店ですが、当時では珍しかったのと、その美味しさで行列ができるほど大人気だったそうです。

家族の経済面でも大きな支えとなり、誇りをもって定年まで勤めあげました。おかげで、娘二人は就職後に結婚して家庭を持ち、私は教職の道へと進むことができました。特に趣味らしきものは無かった母ですが、富士山と歌が大好き。総勢6人の孫達をいつも笑顔で可愛がってくれていました。現在は、曾孫の写真喜んで見てくれます。

いつも優しい笑顔をされている山本美代子様の当時の貴重なお話を聞かせて頂きました。



編集後記

薫る風爽やかな季節を迎えました。レジデンシャル常盤台は研修方法を変えたり新たな事に取り組み、職員一同利用者様の過ごしやすい生活をお手伝い出来る様にしていきたいと思っております。